

## 令和3年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

### 1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和3年7月28日	場所	本校会議室	出席状況	評議員5名、職員7名
第2回	日時	令和3年11月17日	場所	各教室(授業参観) 会議室	出席状況	評議員3名 職員5名
第3回	日時	令和4年3月2日	場所	本校会議室	出席状況	評議員5名、職員7名

### 2 学校評議員に求めた事項

(1)宮古総合実業高校らしい、生徒の資質・能力を向上させるための効果的な地域や外部機関との連携のあり方について専門的立場からの意見を求める

- ①地域に根ざした本校の目指す姿について
- ②学校経営について
- ③学校評価について

### 3 学校評議員の意見

#### 【第1回より】

・学科に係る職種への就職の割合はどのような状況か？(回答)海洋科の生徒たちは、その関係への就職の割合は高い。農業系への就職は厳しいが、農業系の大学校や県の農業土木系に進んだりしている。(生活福祉科)は保育や介護系の専門学校への進学が7割近くいる。商業科も7割程度商業系の専門学校への進学している状況である。

・島内での就職率はどうなっているか？(回答)昨年度は、(全体で)4割ぐらいあった。この3月に卒業した生徒については、島内での就職は特別に多かった。理由としてコロナの影響もあり、親元を離れるのが心配だからという状況があった。例年は、就職の半分は県外、残り4分の1が本島、4分の1が宮古島という割合であったが今回は8割近く沖縄県内が多くなった。(進路)

・(福祉関係で子供たちの受け入れについて) 回答)地域の問題を考えると、大人から子供たちへの家庭内感染が増えている状況であり、受け入れについては懸念されるところである。担当の先生に、今年も受け入れについて相談があり、繰り上げて5月ぐらいに実施できないかとあったが、緊急事態宣言により中止となった経緯がある。できるだけ受け入れたい気持ちはある。状況によっては、薬剤師や支援員などが学校に出向いて専門的な説明をすることも可能。他に、リモートを使って施設内の実際の介護の様子や方法を解説したり質問に答えるなどを考えている。

#### 【第2回より】

・昨年は授業参観がなく、久しぶりに拝見させていただきました。印象に残っているのは、いろいろな科がある中で選択科目で自分の興味のある科目の授業を受けられるということがすごく魅力的に感じた。

・どの生徒たちも楽しそうに授業を受けていたのが印象に残っています。子供たちが笑って授業を受けていたのが大変良かったと思います。

・初めて見させてもらいました。全体的にのびのびとしていると感じた。(私も)福祉科と4、5年前位に関わったメンバーと比べて何が違うかというと、難しいですが、外部の方と先生たちとの距離感が違う。外の人を見たらそれなりに対応できるならいいのかなと思います。見学中に声をかけた生徒は、自分の授業では大人しかったというか、聞いていない静かな感じてでしたが、今日は生き生きしていた様子が見られた。(専門以外の科目でも実習ができるのは)宮古総実の強みなのかもしれない。

#### 【第3回より】

##### 学校評価についての意見

##### (1)教育目標について

- ・コロナ禍の中でもよくできていると思います。
- ・生徒の評価(満足度)が高いですね。

##### (2)教育計画について

- ・コロナ禍で対応の厳しさがあったと思います。
- ・コロナの影響もあり、職員、生徒の評価にBが多かった。

##### (3)教科・科目指導について

- ・もっと指導を厳しくしてもよいと思います。学年進行で悪くならないようにしっかりとした指導を期待してます。
- ・専門以外の取り組みもあり、少人数でも参加できる時間がある事はとても良いと考える。

##### (4)特別活動について

- ・生徒会活動や部活動に力をいれてほしい

##### (5)生徒指導について

- ・もっと厳しくしてもいいと思う

##### (6)進路指導について

(6)進路指導について

・総実から大学進学を希望する生徒さんが増えていて、向学心を感じています。

(7)教育相談について

・個々の力を伸ばす相談を多くしてもらいたい

(8)健康・安全指導について

・とくになし

(9)環境美化について

・生徒、先生方による校内整備がきちんとされていて、学校の印象が大変良いです。

(10)研究・研修について

・総実の特性と優位性は、多角的に学ぶことです。地域で活躍している経営者等民間の方を招いて、生の声を生徒達に届けてください。

(11)家庭・地域との連携について

・地域に見えない点が多くある。

・保護者のどの位の方が学校のHPを見たことがあるでしょうか。

・校門での即売の際、のぼり等を設置してはいかがでしょうか。

・コロナで活動量が減少したとのことだが、保護者評価でも、家庭、地域の評価にBが多い部分をどうして行くかが課題であるとする。

#### 4 学校運営に反映した事項

・中学校での学校説明会や体験入学を行い、入学生の確保に繋げた。

・海運会社や農家等と連携を図り職場実習等を行った。

・即売会等により、地域・保護者が気軽に学校内へ入れる取り組みを強化させた。

・福祉系の専門職を招いての実習や施設見学を行った。

#### 5 課題その他

・コロナ禍におけるPTA活動の充実。家庭・地域の連携。

・インターンシップにおける地域産業との連携。

・学校の教育活動への取り組みについて保護者への情報発信、周知方法の改善。